

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年09月03日

計画の名称	神戸都心三宮地区における魅力的でにぎわいのあるまちづくり(その2)												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	神戸市,兵庫県												
計画の目標	神戸市の玄関口である都心三宮地区において、市民や来街者が自由に集い・憩える滞留空間等の創出や、誰にでもわかりやすい交通結節点としての機能強化による利便性の向上、災害に強い市街地の形成を図り、魅力的でにぎわいのあるまちづくりをめざす。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	30,174	A	30,174	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初		H35末
1	雲井通5丁目地区について、耐震性が不足している建物を減少させる。 雲井通5丁目地区における耐震性が不足する建物の床面積の割合	42%	%	0%
2	事業化を検討している地区について、地権者との協議等を行い、事業化の機運を高める。 事業化を検討している区域における、地権者の事業への参加意向確認率	0%	%	80%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	雲井通6丁目街区都市再開発支援事業	都市再開発支援 A=0.9ha	神戸市						50		-
	A13-002	市街地	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	三宮交差点南西街区都市再開発支援事業	都市再開発支援 A=1.0ha	神戸市						24		-
	A13-003	市街地	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	旭通五丁目地区都市再開発支援事業	都市再開発支援 A=1.1ha	神戸市						50		-
	A13-004	市街地	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	三宮駅北東地区都市再開発支援事業	都市再開発支援 A=3.6ha	神戸市						50		-
	A13-005	市街地	一般	兵庫県	間接	雲井通5丁目再開発株式会社	-	-	(仮称)雲井通5丁目地区第一種市街地再開発事業	市街地再開発 A=1.3ha	神戸市						15,000	1.2	-
	A13-006	市街地	一般	神戸市	間接	雲井通5丁目再開発株式会社	-	-	(仮称)雲井通5丁目地区第一種市街地再開発事業	市街地再開発 A=1.3ha	神戸市						15,000	1.2	-

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R2			
配分額 (a)	113	17.7			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	113	17.7			
前年度からの繰越額 (d)	0	95			
支払済額 (e)	18	102.7			
翌年度繰越額 (f)	95	10			
うち未契約繰越額(g)	0	10			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	8.9			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		新型コロナウイルス感染拡大による影響により、当該業務の前提条件が確定しなかったため			

事前評価チェックシート

計画の名称： 神戸都心三宮地区における魅力的でにぎわいのあるまちづくり(その2)

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○